

賀詞交歓会

1月11日、村開発センターで平成17年椎葉村新春賀詞交歓会が行われました。この交歓会は、村商工会が主催したもので、商工会会員のほか行政関係者や村議会議員、区長、各種団体の代表など約90名が出席しました。

新年のあいさつや鏡割りが行われた後、出席者はそれぞれの分野における今年の抱負や方針などを語り合い、厳しい情勢の中、村の発展を共に目指そうと決意を新たにしました。



▲出席者による鏡割り

小正月行事「モグラウチ」

1月14日、村内各地区で小正月行事「モグラウチ」が行われました。

モグラウチは、田畑の作物に害を及ぼすあらゆる厄を払うことと、地鎮、豊作祈願の意味が込められています。

不土野地区では、子どもたち13名が夕方6時から2班に別れて各家庭をまわりました。小雪の降る中、棒を手に持ち「菜園（しゃーえん）畑のモグラウチ♪」と大きな掛け声で庭や畑を力いっぱいたたき子どもたち。それを笑顔で迎えてくれる地域の方々から、お礼に餅やお菓子をたくさんもらってとてもうれしそうでした。静かな山々や高齢者だけの世帯にも、子どもたちの元気な声が響いていました。



▲雪中、元気に歩き回った子どもたち（不土野地区）

椎葉村が真っ白に

1月23日、村内が大雪に見舞われました。前日から降り続いていた雨交じりの雪は、一夜明けると白銀の世界へ。標高が高い所では30cmを超す大雪となり、中心部の役場周辺でも5cmほど積もりました。管内の国道にチェーン規制がしかれるなど交通機関が乱れたほか、災害復旧の現場や村民の仕事にも影響が出ました。

昨年は、積雪によりビニールハウスや家屋等への被害も発生。まだまだ厳しい寒さが続く本村に、今年は特に大雪が降らないよう祈りたいものです。



▲積雪に覆われた松尾の大いちょう

子牛の初セリで餅まき

1月26日、延岡家畜市場で東臼杵郡市畜連主催の子牛の初セリが行われました。今年初めてのセリ市ということで餅まきが行われ、椎葉晃充村長や本村議会議員、畜連関係者、江藤隆美元衆議院議員など20名によって紅白の餅がまかれました。この餅まきは毎年市町村持ち回りでされており、今年は椎葉村。村内の和牛生産者によって作られた240kgの餅は、期間中の2日間ともまかれ、訪れた人に大変喜ばれていました。

初セリには全体で758頭、本村からは83頭が出場し、県内外のバイヤーに高値で買われていきました。



▲椎葉晃充村長などによる餅まきで始まった子牛の初セリ